

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名： ひまわり

作成日： 平成22年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	入居者の身体状況やレベル低下に浴室や居室の手すりの必要性が考えられ早期実現が期待される。	危険が予測されることは早期に改善し、ひまわり内で起こりうる事故を回避できる。	浴室の脱居場所に立ち上がりやすいように手すり、シャワー場所は前面に手すりはついているが側面の壁にも手すりを設置し、移動時の転倒を回避する。ギャラリーの階段部分をおりやすくする為に横に握っても安全な柵を設置する。	12ヶ月
2	35	居室前のフェンスを開閉式にする事で非常時の避難通路となる事が期待される。消防署からも同意見が出されており、入居者の安全確保に繋がる改善が望まれる。	非常時犠牲者を出すことなく安全に避難できる通路を確保する。	全室掃き出し窓で屋外には出やすいが、外壁フェンスがあるため、それを乗り越えなければならず、高齢者の運動機能や非常事態では不可能であるのでフェンスが開閉できるようにする。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の会議録を全家族に配布し、報告することで共通認識を深め、会議の参加のきっかけをつくる。	家族が運営推進会議に参加してもらい、ひまわりでの取り組みや、問題点を知ってもらい入居者とのかかわりを深めてもらう。	現在会議には参加を促しているが、家族も高齢化していることで、なかなか参加してもらえない。ひまわり便りに会議録を掲載し送付する。	2ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。